

意見検討結果一覧表

（案名： 岩手県地域公共交通網形成計画（素案） ）

| 番 号 | 意 見 | 検討結果（県の考え方） | 決定への 反映状況 |
|-----|--|--|--------------|
| 1 | <p>1 観光客、地域住民が使いやすいバス環境の整備 鎌倉市のように、土地勘のない観光客も乗れるよう、生活住民が利用可能なバス路線の増加。具体的には、観光地を含むルート設定、Googlemap 等への時刻表表示、多言語対応、キャッシュレス対応を推進。</p> <p>2 シェアリングエコノミー推進 ラストワンマイル対策として、「Uber」「Notteco」など自動車サービス、「HELLO CYCLING」などシェアサイクルの普及啓発。県民がサービス提供することにより、事業採算性の低いエリアでも運送が可能。</p> | <p>1 本計画では、公共交通を利用しやすい環境整備により利用促進を図ることを掲げており、具体的には、路線バスにおけるICカード等の導入検討やバスロケーションシステムの更新検討を行うこととしています。 また、観光に関する二次交通の確保も重要と考えており、乗継など路線の接続機能の向上に向け、関係市町村や公共交通事業者等と協議・検討のうえ進めていきたいと考えています。</p> <p>2 一般のドライバーが、ガソリン代の実費を超える対価を得て利用客を運送する、いわゆるライドシェアのような、一般旅客自動車運送事業の許可を受けずに有償で運行を行うことは、現状において道路運送法で規制されています。 配車アプリなどを活用した公共交通については、県内のタクシー事業者の一部で導入されていますが、地域内公共交通に該当するため、本計画の対象としていないところです。</p> | D（参考） |
| 2 | <p>J R 東日本で販売している「いわてホリデーパス」の他に、三陸鉄道や I G R 岩手銀河鉄道の全線、必要に応じてその他のバス路線や、青い森鉄道（目時～八戸）、八戸線全線など、県外関連路線もフリーエリア内に含んだ、「いわてツーデーパス」のようなきっぷを検討していただきたいと思えます。 新潟県では、「えちごワンデーパス」という、新潟市、長岡市周辺を中心とした鉄道路線に乗れるフリーバスと、「えちごツーデーパス」という、J R 東日本、北越急行、えちごトキめき鉄道の新潟県内はほぼ全線が乗れるものの2種類のきっぷがあります。</p> | <p>本計画では、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成により、公共交通の利用促進を図ることを掲げていることから、御意見いただいた複数の公共交通事業者で使用できる企画切符の造成や実施についても取り組んでいるところであり、本計画に記載し引き続き働きかけを行いたいと考えています。</p> | B（一部 反映） |

| 番 号 | 意 見 | 検討結果（県の考え方） | 決定への 反映状況 |
|-----|--|---|--------------|
| 3 | <p>1 目標③ バス運転士確保による路線の維持「事業1：新規採用による運転士の確保」の実施主体に県を加え、合同説明会の開催等において、県の一定の支援（会場提供、参加者募集・運営をイベント会社へ委託する等）を行う旨を記載して欲しい。</p> <p>2 目標⑦ 高齢者や通学生などの利用の増加「事業2：高齢者に対応した利用促進」の実施主体に県を加え、市町村と交通事業者が協力して、高齢者フリーパスを導入する場合に、県も一定の支援をして欲しい。</p> | <p>1 合同説明会の開催については、本計画においてバス事業者の実施事業に掲げている「各種説明会・相談会の実施、参加」で記載しているところです。県としては、事業者が合同説明会を開催する場合は、本計画において運転士確保策に対する支援事業として掲げている運輸事業振興費補助により、支援していきたいと考えています。</p> <p>2 高齢者の公共交通利用の促進については、市町村毎に取組内容が異なっており、また地域の実情に応じた施策を行う必要があることから、従来と同様に市町村や交通事業者に御対応いただきたいと思います。</p> | B（一部 反映） |